



仙高の風

令和2年 6月25日発行 第2号

6/1始業式日
約2ヶ月ぶりに生徒が
学校に帰って
きました。



令和2年度 生徒825名、教職員85名でスタートしました。

6/1(月) 新任式・始業式、6/2(火) 入学式

2年生・3年生の生徒たちは、各教室で放送による新任式・始業式に参加しました。新しく赴任された先生方もこの日を大変待ちわびていました。代表で中村淳教頭(右)から、「ステップ-バイ-ステップです。私たちも生徒の皆さんをしっかりとサポートしていきます。」と挨拶がありました。始業式では、町田尚彦校長が、沖縄歌謡「19の春」の歌を披露。「今は、それぞれの無念さに思いを寄せ、どうしようもない思いに、共に泣くことが大切です。絶望の時に見た希望こそが、きっと諸君のかけがえのない財産であると思います。」などメッセージされました。



《令和2年度 入学式》

「式辞」町田尚彦校長◇今年、新入生の表情を見ていると、青年の美しさに、より輝

いていることに気づかれます。皆さんは、自身の美しさに気づいていないでしょうが、これは、困難の時代への思索によって見つけたもので、そんな中にあってもまっすぐに進もうとする美しさであります。私たち大人は、諸君の眼差しに会い、無垢な心の素晴らしさを再認識すらしています。◇しかし、まっすぐであればあるほど、繊細で傷つくことも真実です。本気に打ち込むからこそ「絶望」を感じることもある。その、「どん底」と感じる時にこそ、望みを繋ぐ日の光〜つまり、特別なことではない毎日の素晴らしさ〜に気づくのも真実です。◇「苦労は必要」と判ってはいても、愛する皆さんを目の前にして、大人はどうしても過保護になってしまうことがあります。私たち教師も、保護者の皆様も「おいしいもの、綺麗なもの」をあげようとし、「すべて良いものだけ与えられるように」願ってしまう。それでも生徒の皆さんは「大丈夫!」と手を振り切って、私たちを越えて行く姿を毎年見ます。◇今日の入学式にあたり、しなやかでありながらも、その基にある皆さんの強さを私は信じようと思います。何でも要領よくこなすことが知恵なのではなく、まっすぐに人を思う気持ちが、将来、多くの人を励ますかけがえのない人間へと育ててゆく。どうぞ、ありのままの自分を愛してください。できるだけ多くの時間、「ありのまま」でいられること、そして「ありのまま」を認める多くの友人との出逢いが訪れますことを、心から祈っています。生涯を支える親友は、意外な所から生まれるものです。◇SNSを始めとする情報化は若者を直撃しています。「他人からどう見られるか」ばかりに日々を費やすことは、現代の大きな病理であると思います。「みんなちがってみんないい」と教わりながら、違いを攻撃する社会を、今、止めなければならない。多くの違った考え方がある社会で、どうやって進むべき道を見出すか。相手の違いを認めることなしに、自分の違いを認めてくれる環境は生まれません。人の尊厳を大切にすることは、本校の大切な目標です。授業で、部活動で、人と協働しながら問題解決することは何よりも大切な体験です。一問一答式ではなく、コミュニケーションの中で解決する力が、

争いをなくし、一人一人を大切にすることを現実のものにして行きます。皆さんは、きっと多くの人を助けるための学びを、この仙台高校ですて行くことでしょう。◇大嶋智彦学年主任先生を始め、担任の先生、副担任の先生を始めとする職員は、皆さんとの出会いを純粋な思いで待っていた自慢の職員です。皆さんの隣で伴走し、励まして続けて参ります。◇本校は今年、80周年を迎えます。青年の多くの心の眩きを、この学び舎は長い間、聞いて来ました。仙台高校での、泣いたり笑ったりの日々が、皆さんをより健やかな青年に育みますよう。

※仙台高校ではクラス毎に入学式を行いました。式辞を8度繰り返す町田尚彦校長(左)



「入学生宣誓」をした佐々木遥紀さん(8組代表)

◇本日はこのような立派な入学式を私達のために開催してくださりありがとうございます。◇世界中で起こっている新型コロナウイルスの影響により、いつから本格的に学校が再開されるのか、今日この日を迎えるまで不安な気持ちで毎日を過ごしていました。◇高校では毎日どんなことが待っているのかという期待の方が強いです。◇高校生として、新たな仲間たちと共に、自分の発言・行動に責任を持ち、仙台高校の教育の根本精神である『自主自立』を意識して行動したいと思います。◇今年度はインターハイやいろんな行事が中止となり、先が予想できない状況が続いていますが、これから起こる、いろいろな困難に立ち向かい、部活動や勉強に、全力で取り組んでいきたいと思っています。(紙面の都合で一部抜粋)

各クラスの代表が入学生宣誓をしました。(出身中学校)
上段左から1組木村萌子さん(住吉台)2組菅埜悠哉さん(大沢)
3組村上琴音さん(高砂)4組早坂誠人さん(中山)

下段左から5組高倉桃花さん(仙台二)6組前田詩恩さん(大沢)7組佐々木遥奈さん(南中山)8組佐々木遥紀さん(若柳)

入学式会場風景～

多くの祝詞 / 間隔を大きく開けた座席



6/2入学式後にPTA入会式・部活動後援会を開催。新入生保護者の皆さんが参加しました。



PTA会長鎌田美千子さんから挨拶があり、「高校生は大人へ成長しようと頑張っていますが、まだまだ大人の力が必要です。常に様子を見守り、必要なときに手を差し伸べ、何かの時には対応するのが役目だと思います。今年はいつもと違い、生徒も保護者も不安もたくさんあるでしょう。私たちがそうです。どうぞ相談してください。今年は特に、先生たちと力を合わせ生徒たちを支えていきたいと思っています。」と述べられました。

高校生は大人へ成長しようと頑張っていますが、まだまだ大人の力が必要です。常に様子を見守り、必要なときに手を差し伸べ、何かの時には対応するのが役目だと思います。今年はいつもと違い、生徒も保護者も不安もたくさんあるでしょう。私たちがそうです。どうぞ相談してください。今年は特に、先生たちと力を合わせ生徒たちを支えていきたいと思っています。」と述べられました。

6/15(月)、やっと平常登校が出来ました。

全校生徒が朝から元気に登校。6月に入ってから、段階的に平常登校に移行した仙台高校。朝のホームルームや7時間授業、昼休み、放課後の課外活動と、いよいよ平常時程での学校生活となります。快晴となった今朝は、汗ばむくらいに気温が上がりました。



6/15(月)「平日・土曜日課外」開講式が行われました。

式に先立ち3学年主任末永光洋教諭から、「受験は団体戦とは言いが、個々の進路や勉強は違うということを実感しよう。」と挨拶。進路部長杉内浩幸教諭から、「目標を明確にし、戦略的に臨もう。最後まで課外に食らいつく者が、自ずと結果につながる。休まずに受講しよう。」と力強いメッセージがありました。また、進路部丸山信朗教諭からは詳細な課外スケジュールが示されました。各教科から総勢22名の先生方が3学年の課外指導に当たります。



「学校紹介動画」放送部が制作!!

この度、県内公立高校が自校の学校紹介動画を作成し、県高校教育課ホームページに掲載するという企画に、本校は放送部の皆さん(3年生5名)が全面協力、素敵な学校紹介動画を制作してくれました。中学生の皆さんや保護者様の志望校選択の一助にいただければ幸いです。



◇部長の藤澤舞(3年)さんに聞きました。「これまでも制作経験がありましたが、今回は一般の方々に広く観ていただくものなので難しさはありました。特に観ていただきたいのは冒頭の学校の全景で、春夏秋冬の素敵なシーンとエンドロールで流れる学校上空からの撮影シーンです。また、施設・設備の紹介シーンも、部員が足を運んで撮影したこだわりのものになっています。私自身、自宅での手直し作業が大変で、深夜になることもありました。仙台高校の良さが伝われば本当にうれしいです。放送部にも是非入部していただけたらうれしいです。」



6/4(木)、新入部員の勧誘活動も解禁!!

部活動は新ルールの下、制限時間の中で行われました。←校舎の周りを笑顔でランニングする陸上競技部員



◇部長の佐藤幸多さん(3年)に聞きました。「今日は正直楽しかった。やっと皆と部活が出来ました。臨時休業期間は、朝にランニングをしたり、筋トレをやったりして体重を増やすことが出来ました。皆とは一緒に活動できなかったけど、皆やる気があるので心配はしていませんでしたし、任せてました。8月に代替の大会や記録会もあるので、これから濃い部活をやっていきます。」と力強く語ってくれました。



今日は正直楽しかった。やっと皆と部活が出来ました。臨時休業期間は、朝にランニングをしたり、筋トレをやったりして体重を増やすことが出来ました。皆とは一緒に活動できなかったけど、皆やる気があるので心配はしていませんでしたし、任せてました。8月に代替の大会や記録会もあるので、これから濃い部活をやっていきます。」と力強く語ってくれました。

「あせらず あわてず 学校生活を 取り戻そう」生徒の皆さんの今を慮る 生徒指導部から生徒諸君へのメッセージ



教室にエアコンを設置する工事を
行っています～各教室天井に2
台設置されます。現在工事の関係
で、大講義室をパーティション
(間仕切り)で2部屋に分けるな
どの方法で授業やクラスのホー
ムルームを行っています。



〒 981-8502 仙台市青葉区国見 6-52-1
Tel 022-271-4471 Fax022-271-1136

URL <http://www.sendai-c.ed.jp/~sendaihs/>
担当:主幹教諭 板橋俊文 『仙高の風』バックナンバーは、ホームページからもご覧いただけます。